

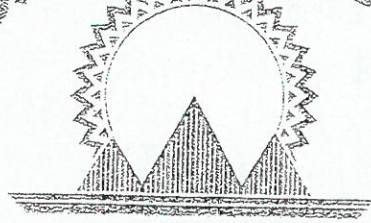
1月の本ベスト5

1. 二番目の悪者
2. フランス人は10着の服をもたない
3. しごとわたし
4. ボールのあつたはら
5. 33年後のなるとなく クリスタル 青のまいい国

山陽堂だより 67

2015年2月如月

SANYODO SHOTEN



山陽堂書店

03-3401-1309

雑誌記号見直し

変更のお知らせ

通常

28日発行 ⇨ 2/27発売

エッセイ・小説: Ogi さん

1日発行 ⇨ 2/28発売

家庭画報・婦人画報など

1月雑誌売上ベスト5

1. 7イカバ3月号
2. GINZA 2月号
3. 家庭画報 2月号
4. エッセイ・小説 2月号
5. SPUR 3月号 Vogue 2月号

トクしたい。ムクはイヤ。 葉の葉い。...

2月24日(火) ~ 3月13日(金)

『歩くはやさで』塚直子原画展

期間: 2月24日(火) ~ 3月13日(金) (5日・13日は17時閉廊) 月~金: 11時~19時 / 土・3/13: 11時~17時 日・祝休み

『歩くはやさで』は、皆さんよくご存じの数々のCMを作ってきたクリエイティブ・ディレクターの松本 巖さんと、イラストレーターの塚 直子さんによる大人向け絵本。刊行を記念して、『歩くはやさで』原画展を開催することになりました。代表的な原画のほか、塚さん描き下ろしの絵もたくさん展示販売しますのでお楽しみに!!

3月2日(月)には、著者お2人によるトークイベントがあります。「本当は奪われているかもしれない、と僕は思う」30点のイラストと1200字に凝縮されたメッセージとは。皆さまのお越しをお待ちしています。

《開催期間》

2月24日(火)~3月13日(金)まで(13日は17時閉廊) 月一金 11時~19時

3/13・土 11時~17時 日・祝休み

*トークイベントの日は、17時半に閉廊となります。

現在3/2・3/5を予定しておりますが、他の日にもトークイベントを予定しておりますので、よろしくお願いたします。

《トークイベント詳細》

タイトル「本当は奪われているかもしれない、と僕は思う」

日時: 2015年3月2日(月)19時より約一時間半(開場18時半)

◇参加費: 1500円(事前のお支払い。返金はできませんのでご了承ください。)

◇出演: クリエイティブ・ディレクター松本 巖さん&イラストレーター塚 直子さん (司会: 小さい書房 安永則子)

◇トークイベントお申込方法:

店頭・下記問い合わせメール・電話・ファックス

電話: 03-3401-1309

ファックス: 03-3401-1358

mail: info@sanyodo-shoten.co.jp

でもそれだけ、いつも何かと得たほうで、 奪われていいるのかもわからない。...

最終日3/13(金) 12:30~16:30は、2Fのみの展示となります。

3月5日(木)19時

スラッシュショー&トーク

『あかけさま』 新刊 敏記さん

山陽堂は創業124年を迎えます。』スラッシュショー&トーク

山陽堂創業124年を迎える3月5日、スラッシュショー&トーク代表 新刊敏記さんをお迎えして、青山同巴や山陽堂所蔵の字真を見ながら、山陽堂のこれまでをお話しします。今回開講を手を添えてくださるスラッシュショー代表 新刊敏記さんは、なんと30数年前、今は亡き三代目の父と接点があったと。 (詳細は山陽堂のホームページでお知らせいたします)

参加費 1500円 お申し込み方法はこちら 同本新刊

朝のこたあはら。

教授は、「自分自身を高める勉強や仕事は早朝しかできない。早朝早く仕事を始める」ときつと言われまして。一脱機能学者川島隆太郎 - アインシュタインの論文を説き及んで1999年に早朝の2~3時間を充てたい。...

キウリーノートの記録

「二番目の患者」庄野ユキコ原画展 1/9 ~ 2/6 2015

- 悪意のない罪人、悔い改めることのない罪人
どちらもあつた。でもどちらも心当りが... 自分の中に
ありました。
- 辞めた会社のことを書いたような物語でした。
自分の会社を辞めたという選択を信じてい。
- 今気軽に小情報か誰でも誰にでも、いつどこまででも
送れるからこそ、考えなければいけない問題だと強く思いました。
「金の取引オンタイムか、思かたのか」本当にそのとおりであらう。
T=ま=ま通りかから立ち寄ったT=つ=つT=のT=あか、丁寧に描かれた
儚い絵と、強く考えさせる、思考停止しているものが再起動されるような
そんな文章を併せもつすほろい本に出会えて本当に良かったです。
- 本当にどうなんだろう？ 調心、確かめる事の大切さ。
「みんな言ってるよ」という言葉に振りまわされた。
「考えない、行動しない、という罪」常に書かたをいと言わ
ずし ~ 人とまはして。出会えて良かったです。
- きれいでした。色々かんがえてました。
- 原画の美しさに、いうほわれ、「二番目の患者」を読み
こじはと絵の一体化した流れにうなるされ、あつためと
絵を見にきました。
- 銀の取引オンに合いたくきました。小鳥の絵と手にして
ほろえむ、眼差しの前を動かなくまりました。心に刺さる物語。
その痛みを優しく変える絵T=つ=つT=からこそ、大切な一冊になりました。

メモ

コピーリスト 原田真代さんのトクショ - 2/10, 2/14
CDコピーリストの贈りもの 本文より 3888円(税込)

- 「人間誰もか自分の中に善と悪を併せ持っている。問題はどの部分
部分をいかに自制できるか」トクショエフスキーもうツマニフも
それと良く矢のついた」これはメルジャ-17の意見であった。
- 外国人からCD音楽を演奏するうえで必要不可欠なことをして
彼は外国人は延にCD音楽を演奏することを推奨した。それなしに
厚顔不思議なCD音楽の謎を知ることはまず不可能である。
とくに人間洞察にすべたトルストイエフスキーを演奏して強調した。
- 演奏者が自我を捨てたとき、音楽は初めて真の姿を現す。
よい演奏とは人間の手柄ではないことを、メルジャ-17は
よく承知していることである。*メルジャ-17氏は、原田真代さんの師。